

図書館とともだち

図書館とともだち・鎌倉 おしらせ No. 208 2021・7・28

大空の見事に暮るる暑さ哉

— 一茶 —

海の家が消えて、
花火に歓声の上がない砂浜が
少し寂しそうに見える鎌倉の夏。
当たり前だった日常が
一日も早く戻ってくることを
願う日々です。

○ CONTENTS ○		PAGE
☆ 署名活動の現況と、そこから見えてきたこと		…1
☆ 公共図書館における利用情報の扱いに大きな懸念が…		…3
☆ 間島文庫(仮称)の保存箱作成作業について		…4
	鎌倉市中央図書館 中田孝信	
☆ 松坡先生をめぐる人々1 松方正義 袴田 潤一		…5
☆ 旧鎌倉図書館の部材保管庫を見学しました		…6
☆ 鎌倉市図書館より 中央図書館耐震改修工事のお知らせ		
☆ 図書館友の会全国連絡会(通称:図友連) 総会&交流会報告		…7
☆ 鎌倉市市民活動センター利用登録団体 懇話会 参加報告		
☆ ワクチン打ちたいワクさん /銀幕情報		…8
☆ ファンタスティック☆ライブラリー110実行委員会報告		…10
☆ 湘南邸園文化祭連絡協議会報告		
☆ 協働事業推進部会報告/ボランティア連絡協議会役員会報告		…11
/活動日誌		
☆ 事務局から		…12



署名活動の現況と、そこから見えてきたこと

◎署名活動の進捗状況

鎌倉市に司書資格をもつ正職員の新規採用を求める署名活動を開始して、ほぼ2カ月になります。署名数は第一次締め切りの7月末までに 2000 筆を超える見通しですが、当初の目標だった 3000 筆には届きそうもありません。このコロナ禍にあつて、身近な知人、友人に直接会って説明をしながら署名を集めることが難しい状況にあることが大きく影響していると感じています。

なかなか厳しい状況ではありますが、それでも署名用紙に添えて様々な方からの声が届いており励みになっています。いくつか紹介すると「良書を選ぶには、本に対する造詣の深い人材が必要と思う」(鎌倉市民)、「いつも図書館の恩恵を受けている、自分が住む地域の図書館のみならず、全国各地の図書館の発展を願っている」(東京都、大学職員)、「私の地元でも、かなり前に6年間あった司書職採用が途絶えており、鎌倉の動向を期待とともに注視している」(高松市、市民団体メンバー)などです。様々な方たちが、図書館が少しでも良いものになることを願って、この署名活動に共感を示し、なおかつ期待をこめて注目してくださっていることがわかり、市民が図書館に願っていることは、どこの地域でも変わらないのだなと改めて気づかされます。

なお、これまでに署名を届けてくださった皆様に受領したことのお知らせや協力へのお礼ができていません。この場を借りてお詫びとお礼を申し上げます。

◎司書採用をめぐる各地の動き

鎌倉の図書館が現在抱えている正職員の司書をいかに確保するかという課題は、どの図書館にも共通するも

のと考え、全国の図書館がいまどういう状況にあるかを調べてみました。結果を一言でいうと、司書採用が継続的あるいは必要に応じて行われている事例を多く見つけることができました。それらを以下に列記します。

- ・**神奈川県立図書館と県立高校学校図書館**の司書募集は毎年同時に行われている。募集が中断した時期もあったが、今年度は主任司書の中途採用を行った。主任司書というのは中堅どころの司書を指す職名で、司書募集が中断した時期もあったことから司書の年齢構成が50代以上に片寄ってしまい、それを是正するためのものだった。
- ・**横浜市立図書館**は、毎年数名の司書採用を行っており、こちらは途中で途絶えることなく継続されている。
- ・**大磯町立図書館**は、継続的採用ではないが、最近、司書の新規採用がなされた。理由は退職者の補充のためだった。
- ・**堺市立図書館**は、昨年度に4人の司書を採用する試験(28歳以下)が行われ、今年度も4人の採用試験(40歳以下、中途採用も可)が予定されている、加えて生え抜きの司書が館長に就任し、図書館協議会の公募委員が1名から2名に増やされたという。
- ・**枚方市立図書館**は、年齢構成が高齢化していることから、組合交渉の結果、専門職(図書館司書もしくは社会福祉士)の採用が予定されている。
- ・公共図書館に限定しなければ、**横浜国大附属鎌倉中学校学校図書館**でも司書募集が行われ、びっくりするほどの応募があったという。
- ・日本図書館協会のホームページ上の告知板にも全国各地の司書募集情報が掲載されている。そこには会計年度任用職員などの非正規の募集もあるが、正職員の新卒募集と並んで主任司書など中堅職員の募集も行われている。

以上のような事例は、いかに正職員司書の存在が欠かせないものかということを具体的に示すものであり、私たちが行っている署名活動に勇気と励ましを与えてくれます。それと同時に、この署名活動が何か特別なことを要求しているものではなく、全国各地で当たり前に行われていることを鎌倉市も当たり前にも実施するよう求めているものかということをより明らかにしてくれていると考えます。

◎今後に向けて

私たちの署名活動は当初から7月末を第一次締め切りとして8月以降も継続し、目標の署名数を獲得することを目指しています。冒頭に述べたように期待した数に未だ達していないこともあり、8月末を第二次締め切りにして、さらに創意工夫して今後も署名活動を進めていく所存です。

一つの方法として、インターネットの活用を考えています。TOTOMOのホームページにアクセスして署名用紙をダウンロードしていただき、署名したものをホームページに送り返していただくことができます。さらにネット上のchange.orgのようなサイトの活用も検討しています。ここでは住所の記載は必要なく名前だけ記入することで気軽に署名することができます。

このことからわかるように署名の対象は鎌倉市民に限ってはいません。その理由は、これまで述べてきたように、今回の署名が求めている課題は全国の図書館に共通するものかということ、もう一つは、どこの図書館も資料の全国的な相互貸借システムのなかで市民サービスを展開しているのであり、そうした図書館のつながりを通して市民もつながっていて、そのつながりの核に司書がいると考えるからです。

最後になりますが、他都市の様々な事例を踏まえ、鎌倉市には司書の新規採用実施に向け現場職員や市民の声に耳を傾け、採用方法も含め実施に向けて柔軟に対応していただきたいと考えます。 (和田安弘)

公共図書館における利用情報の扱いに大きな懸念が…

『図書館の自由に関する宣言』（日本図書館協会 1954 採択、1979 改訂）の第3項に「図書館は利用者の秘密を守る」とあり、図書館界では当然守られるべき原則として共有されているものと思っていたのですが、近年、それに反するような事例が少なくないようです。

5月25日付の朝日新聞によると、北海道の苫小牧市立図書館では、2017年に利用者の貸出記録や予約状況を警察に提供していた、それも令状なしに提供していたということです。このことに危機感を覚えた札幌弁護士会が道内の公共図書館、大学図書館にアンケート調査をしたところ、回答があった43館中、10館が令状なしの照会を受け、そのうち苫小牧市立図書館を含む5つの図書館で貸出履歴、登録者情報、複写申し込みの有無など、多岐にわたる情報を提供していたというのです。

この記事によれば、日本図書館協会の全国調査(2011年)でも、192館が警察からの照会を受け、約6割の113館が情報を提供しており、同じ1995年の調査のときの照会に応じた図書館が1割だったのに比べ、大きく増加したという結果が出ています。北海道に起きていることは、すでに全国に広がっているということがわかります。

最初、この記事を読んで、これが事実であるとは信じられませんでした。自分が現役の司書だった頃にはありえないことだったからです。しかし、記事の終わりのほうに、苫小牧市の図書館に指定管理者制度が導入されていることが書かれていて、そういうことかと妙に納得してしまいました。

民間業者であれば利用者のプライバシー、憲法が保障する「表現の自由」や「内心の自由」を軽視していいということにはなりません。民営化するとこういう危険性が増すことは容易に想像できます。そこには指定管理者制度を導入した行政の姿勢、すなわち表現の自由を支えるために不可欠な公共空間である図書館の役割を軽視するが故に安易に図書館を民営化してしまうという行政の姿勢が反映されているように思えます。

問題は警察への対応にとどまりません。6月13日付の朝日新聞記事「図書館貸し出し履歴 保存は問題？」によれば、借りた本を返した後も記録を残し本人の問い合わせに応じるサービスが東京23区中、少なくとも10区で行われているとのこと。本人になら貸出履歴を開示してもいいのではという人がいるかもしれませんが、コンピュータが導入される以前にも、返却したら記録が残らないような貸出方式を図書館は採用していました。たとえ警察が令状をもって捜査に来て、過去の貸出履歴についてはわかりませんと即答できます。読書の秘密、思想の自由を守るためには必要不可欠なシステムと考えます。

鎌倉市の図書館は貸出履歴の保存機能などは当然ながら導入していません。また、職員に確認したところ、貸出記録に関する警察からの照会は、これまで1件もなかったそうです。あったとしても令状なしに回答することはないでしょう。そのことはこれまでの市の図書館の「利用者の秘密を守る」ということに関する基本姿勢から容易に推測できます。

昨年のコロナ禍にあっても、市の図書館は閉館中に臨時窓口を開設して取り置き資料を貸出する際、事前に電話予約を受け付けましたが、貸出後は予約表をすぐに廃棄し、制限的な開館を開始したときも他都市の図書館で見られた来館者名簿を利用者に書かせるようなことはしていません。これは言うまでもなく司書職員の判断に基づくものです。

以上のことから、直営の図書館であれば自動的に読書の自由が守られて安心ということではなく、これに加えて図書館の役割や使命を心得たプロフェッショナルな司書集団が存在することがとても重要だということがわかります。



(和田安弘)

間島文庫(仮称)の保存箱作成作業について

鎌倉市中央図書館 中田孝信

明治44年7月に開館した鎌倉町図書館は大正12年9月に発生した関東大震災で倒壊しました。その後、大正15年に鎌倉小学校内に新築された講堂の中で細々と開館していましたが間島弟彦氏の遺志を継いだ愛子夫人の寄付金により昭和11年、御成小学校内に2代目の図書館が新築開館しました。

間島文庫(仮称)はその弟彦、愛子ご夫妻の旧蔵書を昭和13年1月6日及び同28年3月14日に寄贈されたものです。

内容としては、佐佐木信綱・心の花等短歌、キリスト教、三井、鎌倉同人会等別荘族関係の図書が主で、中には木下利玄、梅原龍三郎、有島生馬からの献呈署名の入った貴重な資料が含まれ、現在139点が所蔵されています。(平成23年度作成リストによる)

今、図書館とともだち・鎌倉の「間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会」部会の有志の方々が、今年3月から月に一度か二度の集まりを持って作業してくださっているのが、表題の保存箱作成作業です。

戦前発行の資料が主であるため元々経年劣化がありますが、現在では入手困難な資料が多いので、今後より一層の保存を考える必要があります。そこで劣化の原因となる光・埃・温湿度の急激な変化等から又運搬・利用の際の衝撃等からも守るよう作成している保存箱がカイル・ラッパーです。

カイル・ラッパーはアメリカの資料保存修復家ヘディ・カイルが考案した簡易保存箱で、中性か弱アルカリ性ボードを使用することで酸性紙資料にも酸性化の緩和が期待できます。

作り方はシンプル、紙を本に合わせて長方形に2種類作り、それらを両面テープで十字に張り合わせるだけです。とは言え、数をこなさないと完成度が高い満足のいくものが作れません。有志の方々も最初は四苦八苦されていましたが、今は業者のような仕事振りです。

現在までに13点(28冊)分のカイル・ラッパー(写真参照)を作成して頂きました。まだ保存箱未作成の資料が22点程あります。興味を持たれた方は是非ご参加頂けると幸いです。



有志の方々が作成したカイル・ラッパー(13点)に収められた間島関連資料

講演会のご案内 「七里ヶ浜ボート遭難事故と田辺新之助」

主催：松坡文庫研究会 共催：鎌倉市中央図書館

日時：2021年10月3日(日)13時30分～15時30分 会場：鎌倉婦人子供会館(ホール)

講師：袴田潤一(松坡文庫研究会代表 逗子開成中学校・高等学校元校長)

※参加申し込み方法等の詳細は8月中旬に決定。「図書館とともだち・鎌倉」のホームページ等でお知らせします

後援：図書館とともだち・鎌倉 逗子開成中学校・高等学校

★TOTOMOは、鎌倉図書館の創立や発展に尽力して下さった田辺松坡先生と、田辺先生が図書館に遺して下さった松坡文庫について調査研究を進める「松坡文庫研究会」を応援しています。

松坡先生をめぐる人々 1 松方正義

松坡文庫研究会 代表 袴田 潤一

「ととも」の会報の誌面をお借りして、松坡先生をめぐる人々を少しずつ紹介していきたいと思ひます。第一回は、鎌倉女学院の南側に別荘(雅称は鶴陽荘)を構えていた松方正義(1835~1924)です。政治家松方正義については改めて説明するまでもないでしょう。海東と号して、多くの漢詩を詠み、書にも優れていました。

松坡先生は東京開成中学校教員・校長時代から海軍軍人との交友関係が広く、^{かばやますけのり}樺山資紀(1837~1922)が大磯の別荘(二松庵)で開いていた緑雨会(漢詩会)のメンバーでした。詩会には薩摩出身の海軍将校が多く参加しており、松坡先生と松方正義との親交もそうしたことから生まれてきたのだと思ひます。田辺先生は明治 38(1895)年前後から鎌倉に住みましたが(小町、長谷、材木座など、いずれも借家住まい。)、鎌倉でも二人の交流は持たれました。

松坡先生と松方正義の交流を示す二つのエピソードを紹介します。

一つは、松坡先生が松方侯の別荘(鎌倉・那須)をししばしば訪ね、その折の感慨を多くの詩に残していることです。最も古いものでは大正 4(1915)年初秋の作「別墅海東侯爵賦呈(鎌倉別墅に海東侯爵を訪ね、賦し呈す)」。尾聯に「緒餘常嗜臨池技 捲起風濤筆力適(緒余、常に嗜むは臨池の技。風濤捲き起こり筆力適る。)」とあり、海東侯が臨池の技(=書)に親しみ、その筆の力強いことを称えています。大正 8(1919)年初夏に那須の千松苑に同行し、その見事な風光を詠った連作(「千松苑十二勝」)もあります。末尾には「己未六月陪海東侯。游千松苑。留滞三日。(己未六月海東侯に陪し、千松苑に遊ぶ。留滞すること三日。)」と記されています。

もう一つは、鎌倉宮に建つ「鎌倉宮碑」の建立に松坡先生が奔走し、松方侯が尽力したというエピソード。明治 6(1973)年 5 月の明治天皇鎌倉行幸直後に鎌倉宮についての碑を建てる議が起こり、^{いわやいちろう}巖谷一六が撰文までしたのですが、どんな経緯かそれは沙汰止みになり撰文は埋もれたままになっていました。一六の没後、その遺稿の中から撰文を見出した松坡先生は、是非とも碑を建てたいと東奔西走。誰に書を依頼するかが問題でした。巖谷一六と並んで明治三筆と称えられた^{くさかべめいかく}日下部鳴鶴に揮毫を願うのが相応しいのですが、鳴鶴は老病で筆が執れません。困った松坡先生は松方侯に相談に行きました。相羽清次の『明治天皇鎌倉行幸御事蹟』(1928)に松坡先生自身の談話として載録されています。

當時多く鎌倉の別荘に居住せられて、土地のことにも何かと心配せらるゝ松方老侯に、ご意見をうかがいましたところが、公は暫くお考へになりましたが「それは私に書かせてくれまいか」と豫期せざる仰せでありました。尤も老侯は、晩年殊に書道に精進せられて居ることは承知してはみましたが、この揮毫に老侯を煩はすことなどは、毫も念頭になかったことであり、又平生お達者とは申せ、當時八十七歳の御老體でありますので、かような正楷の細字の揮毫に、老侯を煩はすに忍びませんので「それは恐縮致します。誰かお見立て下さいますれば、お名前は拜借だけで結構であります」と申し上げたるも、「いや私に書かしてくれ」との、固いお意氣込みで居らるゝので、「然らばお願い申します」といふことになり、文字の大きさや配置を、私が按排して、老侯に差上げました。

(同書 pp.22-23)

この談話からは、二人の交流の様子が判ると同時に、建碑にかける松坡先生の苦勞が窺われ、同時に、松方侯の「^{せいやくきんげん}誠愨謹嚴なる面目」(同書 p.20)が偲ばれ、心打たれます。

鎌倉別墅訪海東侯爵賦呈
天下達尊指掌收人間今見勝瀛洲兩朝元老持經濟一代
文動贊聖飲帆影低迷三浦夕琴聲緩度萬松秋緒餘常嗜
臨池技捲起風濤筆力適

旧鎌倉図書館の部材保管庫を見学しました

6月30日に、こども支援課の職員の方3名の案内のもとに、旧鎌倉図書館の部材を保管している倉庫内を見学させていただきました。保管場所は旧図書館の敷地内にあるプレハブの建物で、最初に修復工事を受注した業者が現場事務所として設置したものを、この業者が途中で撤退した際に市が借り受け、部材の保管庫として活用したもののようです。

保管庫は2階建てで、1階には旧図書館を特徴づける縦長の窓枠が保管されていました。ここにはまた、専門業者によって作製された、この窓枠を再活用する場合の実例モデルがガラス張りにして置かれていました。

2階には板類のほか、比較的小さい部品が多く保管されていました。屋根瓦、懸魚、釘、ねじ類、時計、通風孔の枠などです。

全体的な印象としては、倉庫内は清潔さが保たれ、部材もきちんと整理されていると感じました。ただ、部材として重要と思われる三層書庫のホゾ組の書架は御成小旧講堂のほうに保管されているため見学できませんでしたが、写真で見せていただき、保管状況を確認することはできました。

これまで旧図書館の状態を見ようとするときは、道路側の塀の隙間から覗くという感じですが、今回は見学のため敷地内に入らせていただいたので、様々な角度から旧図書館の現況を間近に見ることができました。かつて道路側に別棟の小さい建物が本体に密接して建てられていたため、その接触部分で腐朽が進み、塀から覗くとその腐朽部分が目立っていましたが、反対側から見ると、通し柱や2階部分の骨組みは想像したより健全な状態を保っているのがわかり、現況調査の指摘通りだなと思いました。

骨組みだけになったとはいえ土台付近に貼られたスクラッチタイルはそのまま残されていました。修復の際にこれを活用できないか、それから同じ敷地内の旌徳碑を見たらツタが絡んでおり、これが碑石を傷めることにならないか、その辺が少し気になりました。

見学のついでに入札状況について職員の方に尋ねたところ、まだ建築業者は決まっておらず、文化財的な木造建築を扱ったことのある業者に、いま当たっているところだとのことでした。

今回、見学させていただいて、いろいろな気づきがあり、安心した部分もありました。あらためて市に感謝したいと思います。

(和田安弘)



鎌倉市役所担当の方から説明を受ける
(修復中の旧図書館敷地にて)

【鎌倉市図書館より 中央図書館耐震改修工事のお知らせ】



工期（予定）：2021年9月1日～2022年2月末までの7か月間

9月の1か月間と、2月後半の2週間程度は、休館する予定です。

9月1日（水曜日）～9月8日（水曜日）は、蔵書点検実施のため中央図書館は完全に休館します。

9月9日（木曜日）以降の休館中に予約受取、返却などを行う臨時窓口の設置を予定しています。

工事期間中、車でのご利用はできなくなります。詳細につきましては、決まり次第お知らせしてまいります。

利用者の皆様には多大なるご不便をおかけいたしますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

お問い合わせは 鎌倉市中央図書館 HP <https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp/> または ☎ 0467-25-2611 まで

コロナ禍ではなくコロナ果？ オンライン活用で可能性がひろがる市民活動の報告です

図書館友の会全国連絡会（通称：図友達） 総会&交流会報告

■第15回 2021年度 通信総会

図友連は例年5月末に全国各地の会員が集まり総会や交流会を行っています。

しかし、COVID-19 対応のため、昨年度に続いて2021年度も約1か月にわたる通信総会となりました。対面での話し合いは叶いませんでしたが、十分な時間が確保できる通信総会の利点が活かされ、活発な議論が行われたことはオンラインの効用と思います。各議案の承認は書面議決書の提出をもって行われ、通信総会は無事終了しました。

会員数：団体会員(71団体) 個人会員(106名) 合計177会員(2021年5月16日現在)

■オンライン交流会

7月3日13時～15時、ZOOMによるオンラインの会員交流会が行われました。

「全国の仲間の顔を見ながら交流しませんか。ZOOMはまだ体験していない、不慣れというかたも、サポートがあるので大丈夫！」の呼びかけのもと、42名(18団体13個人)の参加がありました。

図友連にとって初めての試みとなるオンライン交流会でしたが、2度の練習日を設けてZOOM初挑戦者に対応したり、事前に関連資料や参加者名簿が配信されるなど、事務局はじめ担当スタッフの尽力で当日はスムーズで充実した交流会となりました。

図友連は、文字通り北は北海道から南は九州までの仲間たちが集う全国組織ですので、日頃からML等文字上のやり取りは行っています。しかし対面での話し合いは、時間、空間、予算等、さまざまな理由で困難な状況にあります。

だからこそ、今回のオンライン交流会は貴重な成功体験となりました。今後も積極的にICTを活用し、さらに充実した活動にしたいと思います。(阿曾千代子)

鎌倉市市民活動センター利用登録団体 懇話会 参加報告

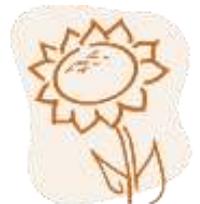
NPOセンター事務局の呼びかけにより、6月30日18時15分よりZOOMを使ってのオンライン懇話会が開かれ参加しました。遅い時間からの開催でしたが27団体の参加があり、入念に準備された司会進行のもと、有意義な時間を過ごすことができました。

センターを利用していても普段は他団体の方となかなか顔を合わせることはなく、ゆっくりお話する機会も持てません。しかし、今回の懇話会では、高校生が主宰するNPOが複数あることに驚いたり、当会と共通する分野で活動するNPOの皆さんと連携に向けた話し合いが進むなど、確かな手応えがありました。

コロナ禍のために初めて企画されたNPOオンライン懇話会でしたが、対面での懇話会が復活することになっても、ハイブリッドな形で継続されるとよいと思います。

当会からは1名が参加しました。

(阿曾千代子)



静岡の知人から図書館での出来事を聞いた時“やったね、図書館”と嬉しくなりました。
 この状況下、二度目の夏を迎えました。赤ちゃんから高齢者まで、どれほどの思いを抱えて過ごしてきたのでし
 よう。規則や立場や自身の思いに縛られることなく、人への想いを強く持ち、助けを求めている隣人へ手を差し伸
 べることのできる心が…今一番大切なことのように思います。 文: 宜子 マンガ: のんびり



3 0

0



※これは、ある町の図書館のエピソードをもとにした漫画です。

鎌倉の図書館ではどうかしら?と質問したところ、、
「鎌倉市の図書館では、インターネット利用はできますが、利用目的を調査研究を目的とするものに限定しているため、このストーリーのような個人情報が残るものの発信はできません。館内のインターネットの使い方や検索内容等に関するご相談・ご質問にはおこたえできますので、お気軽にお声をおかけください。」とのことでした。

かまくら銀幕上映会のお知らせ (主催：ドリーム・アーツ (03-5969-8081) 於：鎌倉芸術館小ホール

8/16 (月) 『ホワイト・クロウ 伝説のダンサー』

9/ 9 (木) 『ニューヨーク親切なロシア料理店』

9/28 (火) 『世界で一番しあわせな食堂』

◎前売り券:1000円(当日券:1300円) ◎上映時間①11:00~ ②14:00~

☆上映スケジュールの確認は、鎌倉芸術館(0467-48-5500)へお問い合わせください。

☆受付で「田邊さんから聞いた」とおっしゃっていただければ、前売り料金でご覧いただけます



ファンタスティック☆ライブラリー110実行委員会報告

(6月17日 於：中央図書館多目的室)

2021年度のファンタスティック☆ライブラリー110実行委員会が6月17日(木)14:00~15:00に行われました。3団体5名と図書館員3名の合計8名の参加でした。

今のところ今年度も昨年度同様、集客を目的とするイベントは実施せず、展示中心とする方向で企画を考えることとなりました。

今年度の参加団体としてTOTOMO(「おはなしひこうせん」、「間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会」)、松坡文庫研究会、かまくら女性史の会が参加を希望しましたが、他の団体の参加も募ってはどうかとの意見に対しては、今の状況では無理かと思われる。来年度に向けての募集は考えても良いと思うとのことでした。

話し合いの中で、図書館の展示としては、今年は図書館の110周年に当たり、現在『百年史』発行以降の10年の記録をまとめているので、110周年に関連した展示はどうだろうか?さらに昨年度は共通テーマがなかったので、そこから今年度のテーマを導き出せないだろうか、との意見も出ました。

開催時期は中央図書館の耐震補強工事や他のイベントを加味して、2022年2月中旬から3月で調整することになりました。

今回は共通テーマを決めること、各団体で企画の進捗状況を、わかる範囲で報告することになります。尚「広報かまくら」の掲載は2022年2月号(広報締切は12/28)となる為、各団体の企画は12月初めまでに提出することになります。

次回実行委員会は10月21日(木)14:00~、場所は未定です。

TOTOMOからは阿曾(松坡文庫研究会兼務)、杉崎、水岡が参加しました。(水岡やす子)

湘南邸園文化祭連絡協議会報告

2021年度総会・第一回連絡会と臨時総会・第二回連絡会(何れもオンライン会議)に出席しましたので報告します。

*総会・第一回連絡会 2021年6月7日(月)14:00~16:00

総会: 39団体のうち出席・委任27団体、定員数は正会員の1/2、よって成立。

役員選出にあたり会則改正の問題提起があり臨時総会に持越しとなる。

第一回連絡会: ①ガイドブック作成についての確認事項

②イベント開催時のコロナウイルス感染対策等

*臨時総会・第二回連絡会 2021年7月15日(木)14:00~16:00

臨時総会: 39団体のうち出席29で成立。持越しの会則改正は満場一致で了承。

役員選出は現役員に一任され後日決定となる。

第二回連絡会: 新規加入希望団体として湘南工科大学総合デザイン科の申し出があり、満場一致で了承。ガイドブック配布開始は8月中旬頃の予定。

長引くコロナ禍の中、学生さんたちの若いエネルギーの活躍が楽しみです。

湘南邸園文化祭HPで各種情報発信が行われますので、最新の開催状況などをご確認ください。

TOTOMOからは「間島弟彦生誕150年・間島夫妻の事跡を辿る」と題して参加します。(阿部光世)

TOTOMO

COMING NEXT! 事務局からのお知らせ



暑中お見舞い申し上げます。オリンピックはテレビで応援！
この夏もコロナの終息を願って、おうちで読書して過ごしましょう。

鎌倉市に司書資格をもつ正規職員の新規採用を求める署名活動を行っています

鎌倉市では、1993年の2名の司書採用を最後に新規採用はなくなり、専門的な技術と豊かな経験を持つ職員は数年のうちに、ほとんどいなくなってしまうという事態を迎えています。

TOTOMOでは、この事態に新規採用を求める署名活動を行っています。7月27日現在、1974筆の署名が集まっています。8月末の第二次締切まで、引き続き皆さまのご協力をお願いいたします。

お問い合わせは、和田（TEL/FAX 0467-31-5678）まで。

おはなしひろくせん勉強会

日時： 9月16日（木）10時～12時 場所：福祉センターにて
テーマ： 鎌倉ゆかりの絵本作家の作品（フェンタステック☆ライブラリーでの展示テーマとして検討中）おすすめの絵本や紙芝居などをご紹介します。
お問い合わせは、黒瀬（TEL/FAX 0467-22-8545）まで。

読書会

日時： 8月6日（金）11時～12時半 場所：NPOセンター鎌倉にて
テーマ本：小川洋子著『密やかな結晶』（講談社文庫）、
朽木祥著『八月の光・あとかた』（小学館文庫）です。
お問い合わせは、杉崎（TEL/FAX 0467-41-4956）まで。

間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会

日時： 8月4日（水）13時半～16時半 場所：NPOセンター鎌倉にて
お問い合わせは、鈴木（TEL 090-4728-5242）まで。（19時以降）

※上記の各会については、COVID-19感染の状況により、変更になる可能性があります。
参加される方はTOTOMOのHPやFBでご確認いただくか、お問い合わせください。

☆図書館友の会全国連絡会

通信総会とオンライン交流会が終了し、司書職制度プロジェクト、図書館評価プロジェクト、会員アンケート調査の活用検討など、様々な取組みが動き始めました。お問い合わせは、阿曾（TEL/FAX: 0467-45-5731）まで。



編集後記 * * * * *

☆コロナ禍、2度目の夏休みが始まりました。ソーシャルディスタンスをとって文学館や美術館で絵本展はいかがですか。鎌倉文学館では、「とよたかずひこの世界」展が開催中です。（A.S）

☆「鎌倉の図書館に、司書資格をもつ正規職員の新規採用を！」署名活動は、8月にも引き続き行います。多くの方へのお声がけを、よろしく願いたします。（M.S）

題字・巻末カット：小島寅雄 2021年7月28日発行
図書館とともだち・鎌倉（代表：和田安弘）編集：阿曾・黒瀬・目黒・杉崎・斉木
事務局：〒248-0005 鎌倉市雪ノ下1-14-34（黒瀬）TEL/FAX 0467-22-8545
HP：<http://totomo.sakura.ne.jp> E-mail：toshokantomodachi@gmail.com

